

## 著者紹介

西海 賢二（にしがい・けんじ）

1951年、神奈川県小田原市生まれ。

筑波大学大学院歴史人類学研究科博士課程修了。

現在、東京家政学院大学現代生活学部・大学院人間生活学研究科教授、法政大学・立正大学・愛知大学大学院講師、一般財団法人古橋懐古館館長、NPO法人石鎚森の学校副理事長、文化庁文化審議会専門委員、東京都文化財保護審議会委員。

博士（歴史学）。博士（民俗学）。

主な著書に『筑波山と山岳信仰』（崙書房、1981年）、『武州御嶽山信仰史の研究』（名著出版、1983年）、『近世遊行聖の研究』（三一書房、1984年）、『石鎚山と修験道』（名著出版、1984年）、『生活のなかの行道』（ベネッセコーポレーション、1987年）、『漂泊の聖たち』（岩田書院、1995年）、『民衆宗教の祈りと姿』（ぎょうせい、1997年）、『木曾御嶽本教五十年のあゆみ』（ぎょうせい、1997年）、『石鎚山と瀬戸内の宗教文化』（岩田書院、1997年）、『絵馬に見る民衆の祈りとかたち』（批評社、1999年）、『近世のアウトローと周縁社会』（臨川書店、2006年）、『江戸の漂泊聖たち』（吉川弘文館、2007年）、『近世の遊行聖と木食観正』（吉川弘文館、2007年）、『武州御嶽山信仰』（岩田書院、2008年）、『念仏行者と地域社会』（大河書房、2008年）、『富士・大山信仰』（岩田書院、2008年）、『江戸の女人講と福祉活動』（臨川書店、2012年）、『博物館展示と地域社会—民俗文化史からのまなざし—』（岩田書院、2014年）などがある。